

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月12日

【評価実施概要】

事業所番号	272100785		
法人名	医療法人誠仁会		
事業所名	グループホーム「わかたけ」		
所在地 (電話番号)	〒038-3151 青森県つがる市木造若竹5 (電話) 0173-42-2133		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 1月 15日	評価確定日	平成 20年 3月 12日

【情報提供票より】(平成19年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年 8月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造鋼板葺平屋建て		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	0 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(12月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.8 歳	最低	73 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	尾野病院・平田歯科医院・えんじゅの里
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成14年医療法人が開設した1ユニットのホームであり、敷地内に系列の病院、老健施設があり、医療面の連携もスムーズに行われている。ホーム内は明るく、季節感を取り入れた手作りの花や鉢植えが置かれ、また入居者個々の能力に合った役割を持ち、家庭的な雰囲気の中で穏やかに生き生きと安心した生活を送っている。管理者、職員は「自分が入居したいホーム作り」を目指し勉強会、研修会に積極的に参加・共有し、ケアサービスに活かすよう日々努力している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	理念の字を大きくし、ホール・スタッフルーム正面に見やすいよう掲示している。地域住民の交流に関する項目の理念づくり、運営審議委員に民生委員の推選を検討している。今後、消防署・警察署と連携を密にし、協力体制を築き、利用者の安全確保の取り組みを望む。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が評価を理解、共有し、勉強会で意見交換や改善策を検討され、実践につながるよう努力している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	今年度より開催され、ホームの現状、行事予定、評価の結果、検討事項等情報提供し意見交換している。会議の内容は職員に伝えケアに活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	面会時個々のケアプランや写真集を見てもらい意見、不満を聞いている。また評価とは別に家族の協力を得てアンケート調査を実施し、結果を参考に家族が安心出来るよう支援している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩、買い物等外出時挨拶を交わしているが、地域の集まりや祭りには参加していない。地域活動に積極的に参加するよう努めるとともに、ホーム便りを作成、活用し地域の理解を得るよう取り組みを期待したい。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で話し合い、作り上げた「ゆったり・楽しく・生きいきと」のわかりやすい理念をホーム内に掲示している。		地域交流に関する項目の文章化を作成中なので、今後の取り組みに期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送り、ホームカンファレンスで意見交換、共有化が図られケアに活かすよう努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	入居者の帰宅、散歩時挨拶を交わしているが、地域の行事、祭り等には特に参加したり交流はしていない。	○	地域活動に積極的に参加するよう努めるとともに、ホーム便りを作成、活用し地域の理解を得るよう取り組みを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者、職員は勉強会、ホームカンファレンスで評価について話し合い、改善に向け具体策を検討し、実践につながるよう取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームの現状や行事、外部評価の結果、改善策の取り組みを報告し、意見をもらいサービス向上に努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者とは監査の時だけ情報交換しているが、積極的な関係づくりはしていない。</p>	○	<p>認知症ケア向上のために市担当者と連携を図るためホーム側から積極的な働きかけが望ましい。地域密着型職員と市担当者の情報交換を予定している。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>該当する家族、関係者の対応は管理者が説明し、支援しているが、他職員の学習会は行っていない。</p>	○	<p>職員全員成年後見制度について理解、支援できるよう学ぶ機会を持つことが望まれる。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々虐待防止に努めているが、勉強会、研修会は行っていない。</p>	○	<p>高齢者虐待防止法に関する参考資料等で勉強会などを実施し、防止に努めることが望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、重要事項説明を家族が納得できるよう時間をかけ十分説明し、同意を得るようにしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時状況報告、金銭出納の確認を行っている。また日々の生活の様子、行事の写真集をホールに置き、閲覧できるようにしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が意見、苦情等気軽に話せるよう面会時に声がけをしたり、アンケート調査を実施したりして、サービスに反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は最小限にし、異動後はペアを組み利用者に関わることでケアに支障がないよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内の勉強会、法人内外の研修会に参加している。また研修参加後は、報告の機会を設け報告書も全職員が閲覧できるようにし、日々学ぶ機会を積極的に確保している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は関連事業所協会の役員をしており、同業者と交流をもっている。職員も研修会に参加時に情報交換したり、入居者同志の交流活動も行ったり、ケアサービスに活かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族にホームを見学してもらったり、関係者からの情報を参考にしたり、また希望で家族の写真、生活用品が置いたりして、本人が安心して生活ができるよう支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ホールでの語らい、野菜作り、調理の場面を通し、共に学び支え合う関係づくりをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話や関わりを大切にし、出来るだけ本人の思いや希望にそって対応しているが、拒否の強い時は見守ったり他職員が対応し支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の様子や会話から状況をふまえて作成している。	○	家族からの意向を聞き、状況をふまえて作成することが望ましい。
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化があった場合は、随時見直しを行なっているもののケアサービスに対する評価の記入が見られない。	○	今後行なわれる介護計画の見直しでは、前回の計画に対する評価を行い、結果をふまえて現状に即した計画を作成することが望ましい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や年3回の遠足には職員が付添い、法人の送迎バスを利用している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関がすぐ近くにあるので、本人と家族が希望し、検診や緊急時もすぐ対応している。協力医療機関以外にも、かかりつけ医への受診希望時には紹介状を書いたり、職員が同行したりして支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時ご家族に説明し同意を得ているが、重度化や終末期に向けた同意書がない。	○	同意書の作成が望ましい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄介助時、声掛け等の本人の誇りやプライバシーを損ねるような対応はされていない。	○	個人情報保護法や情報の漏洩についても事業所全体で理解できるような取り組みに期待したい。
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の希望にあわせ外出や買い物など対応し、一人ひとりのペースを大切にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材切り、盛り付け、片付け等は当番の利用者と共に行い、また食前に職員が利用者と一緒に嚥下訓練を行うなど、和やかな雰囲気である。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回、曜日を決めて行っている。	○	入浴拒否者についても、個々の習慣や好みを良く聞き、個別の支援が出来るよう工夫することが望まれる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	裁縫、ゴミ袋たたみ等、利用者の能力に応じ相談しながら行っている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節を感じてもらうため、本人の気分や希望に応じて一緒に散歩している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が資料を見て内容を理解しケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけていないので利用者が外出しそうな時は声がけをしたり、一緒に外出して見守っている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を行なっている。職員連絡網を作成、訓練している。		地域の消防団、地域協力員参加での訓練の取り組みが望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量を把握、記録している。入居者の要望を聞き、献立作りをしている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル作成、勉強会をしている。入居者、職員はうがいを励行、ペーパータオルを使用している。	○	外部からの感染防止にも工夫が望まれる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアーには季節感を取り入れた手作りの花や、人形、鉢植え等で雰囲気作りをしている。個人のアルバムを作成、家族がいつでも見れるように置いている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>時計、家族の写真、折り鶴が持ち込まれており、入口には造花と写真を貼って、本人が間違わないように工夫している。</p>		

 は、重点項目。